

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年03月30日

計画の名称	道路交通ネットワークの形成による都市防災機能の強化（防災・安全）												
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	堺市												
計画の目標	道路交通ネットワークの形成により、安全で快適な道路交通環境の創出をめざすとともに、災害時の延焼防止や避難困難区域の改善など都市防災機能の強化を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	7,867	A	7,867	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	H33末	H35末
1	都市計画道路の整備により、災害時の延焼火災の危険性が高い区画において、一定の距離以内で避難路に到達できる区域の割合を85%（H31）から87%（H35）に向上。 延焼火災の危険性の高い区画において、一定の距離以内で避難路に到達できる区域の割合を整備前後で比較する。 （割合）＝（一定の距離以内で避難路に到達できる区域面積）／（延焼火災の危険性の高い区画面積）	85%	87%	87%
2	交通結節点としてだけでなく、防災活動拠点としての機能も有する駅前交通広場の整備率を63%（H31）から74%（H35）に拡大。 都市計画決定された駅前交通広場の整備率を算出する。 （駅前交通広場の整備率）＝（駅前交通広場供用数）／（駅前交通広場総数）	63%	70%	74%

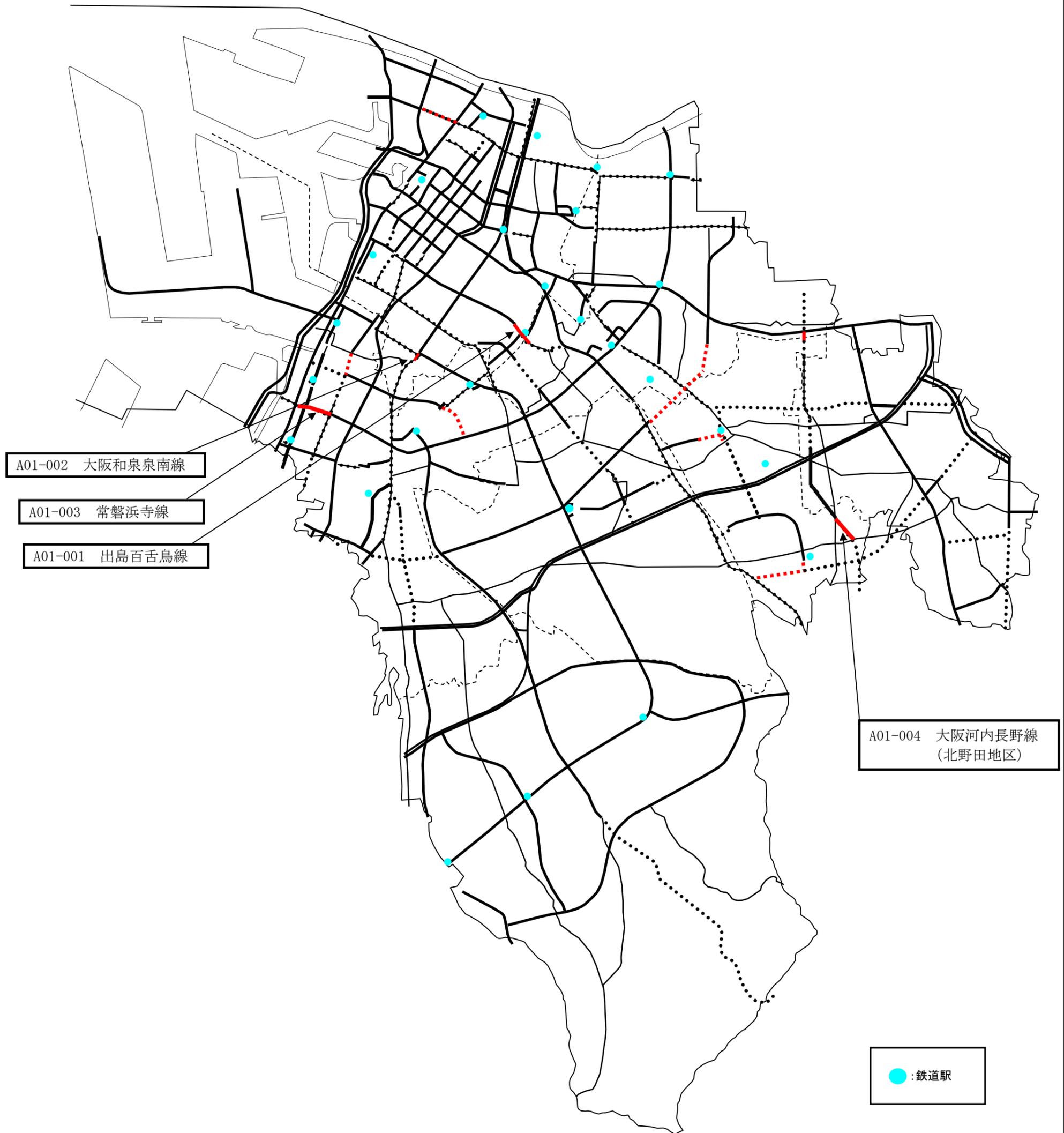
備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02	R03	R04	
配分額 (a)	154	148	0	0	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	154	148	0	0	
前年度からの繰越額 (d)	11	44	45	0	
支払済額 (e)	121	147	45	0	
翌年度繰越額 (f)	44	45	0	0	
うち未契約繰越額(g)	41	45	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	24.84	23.43	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	用地交渉に時間を要したため	用地取得の遅延難航			

計画の名称	道路交通ネットワークの形成による都市防災機能の強化（防災・安全）	
計画の期間	平成31年度～平成35年度（5年間）	交付対象 堺市



事前評価チェックシート

計画の名称： 道路交通ネットワークの形成による都市防災機能の強化（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。（上位計画名：堺市総合計画,堺市マスタープラン,堺市地域防災計画等）	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性） 1) 本市の課題を踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性） 2) 本市のまちづくりに必要な施策に位置づけられている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 1) 計画の目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 2) 定量的指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 1) 十分な事業効果が確認・期待されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性） 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性） 2) 計画について住民や民間事業者等との間で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） 1) 住民等から事業実施についての要望がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） 2) 計画について住民・民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○